

桑折町 小・中学校のあり方に関する アンケート調査結果の概要について

これからの桑折町の小・中学校のよりよい学習環境の整備について方針を決定するにあたり、町民・保護者の意識や意向を把握するため実施した調査の結果概要をお知らせします。

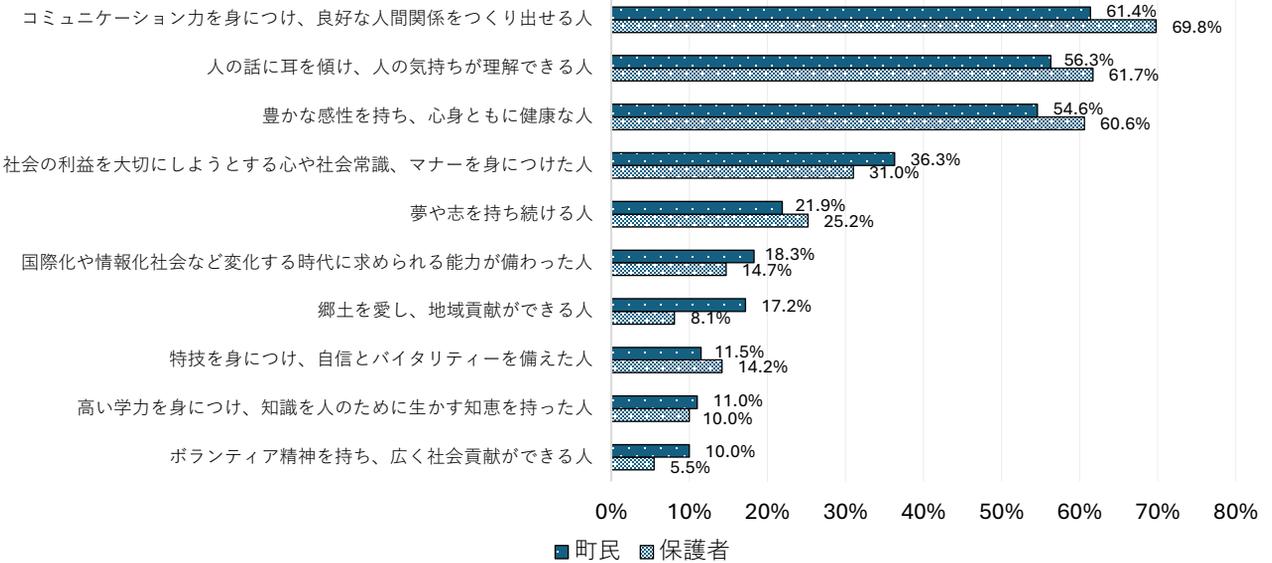
	町民アンケート	保護者アンケート
調査対象	18歳以上の町民を 住民基本台帳から 無作為抽出※	町内の幼稚園、小学校、中学校に 在籍する児童・生徒の保護者
調査方法	配付 郵送 回収 郵送、持参、WEB	配付 児童・生徒経由 回収 幼稚園・学校に提出 郵送、持参、WEB
調査期間	令和6年11月30日から 令和6年12月17日まで	令和6年12月13日から 令和6年12月20日まで
調査項目	子どもになってほしい人物像や教育環境において重要だと思う事項、 今後の学校教育のあり方、学区の見直し、学校施設への考え方などの 「本町の現在及び今後の学校教育について」の調査	
標本数	1,000件	550件
有効回収数	529件	381件
有効回収率	52.9%	69.3%

※町民アンケート対象者の男女の比率は各50%、年代別・地区別抽出者数は下記のとおり

15～19歳（10代）	150人	桑折地区	420人
20～29歳（20代）	250人	睦合地区	150人
30～39歳（30代）	250人	伊達崎地区	140人
40～49歳（40代）	150人	半田地区	290人
50～59歳（50代）	100人		
60～69歳（60代）	50人		
70～79歳（70代）	50人		

町民・保護者アンケート結果概要

【1】学校教育を通して、本町の子供がどのような人に成長してほしいと思いますか。 (選択肢から3項目選択)

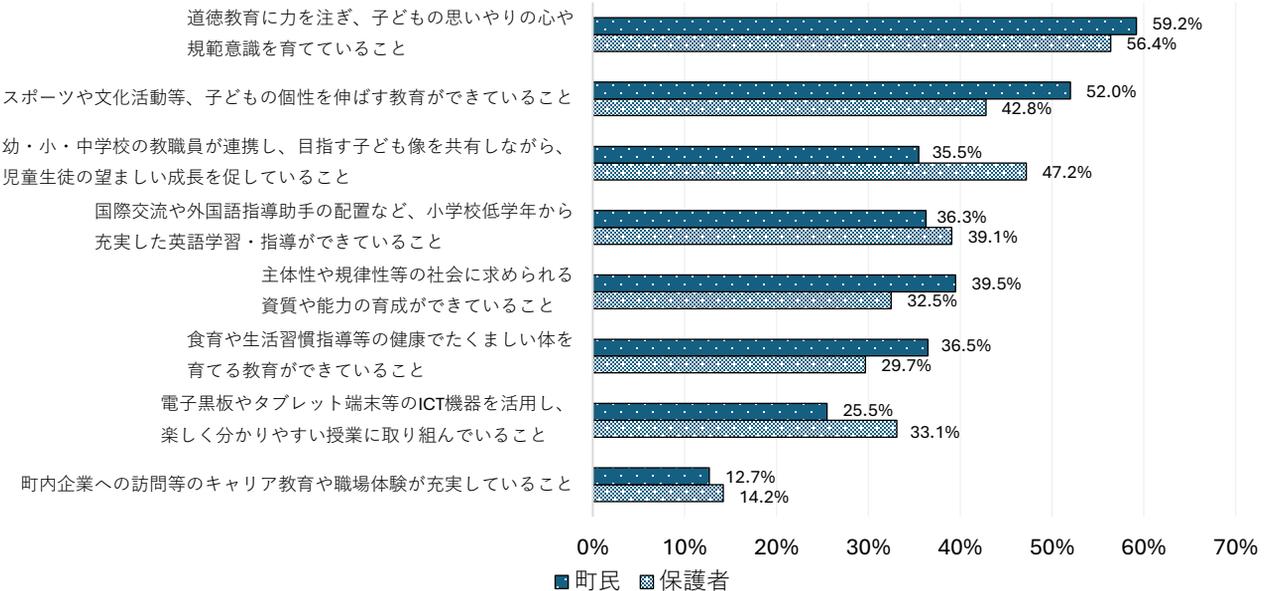


回答者の意見 (自由記述欄から抜粋)



- ・素直な子どもたちに育ててほしい。
- ・他人の事も思いやれる人間に育ててほしい。
- ・モラルのある人になってほしい。
- ・自分のアイデンティティに誇りを持てる人になってほしい。

【2】本町の学校教育における教育方法・内容で重要だと思うものはなんですか。 (選択肢から3項目選択)



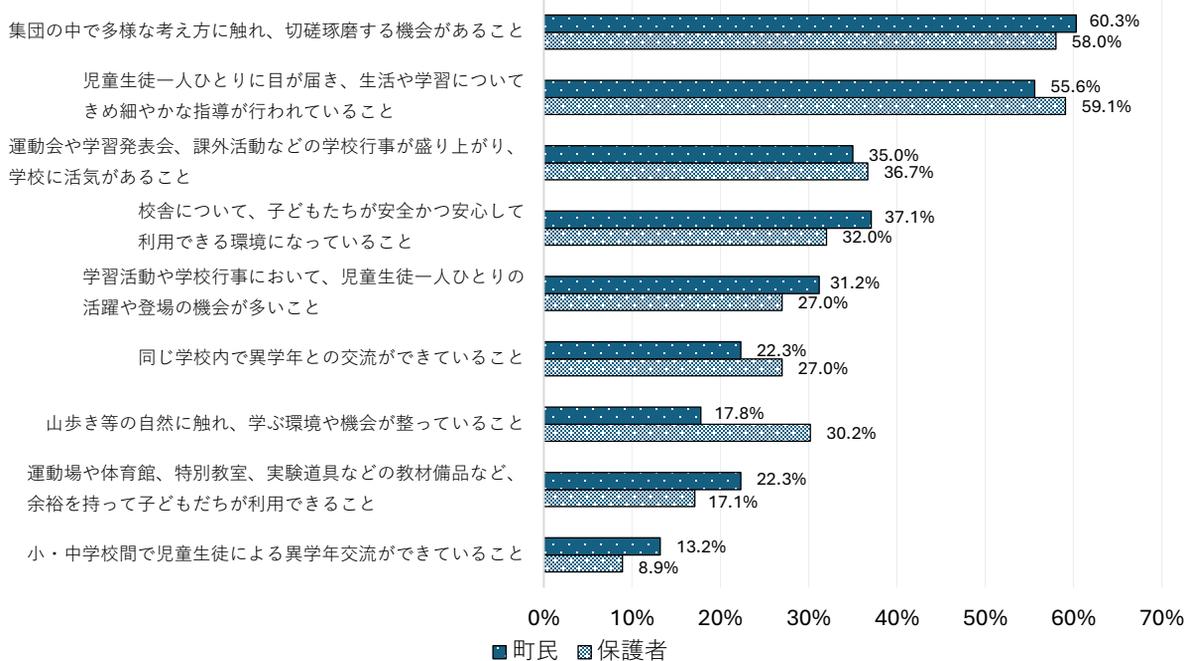
回答者の意見 (自由記述欄から抜粋)



- ・道徳や社会常識がなく未熟な大人が起こす事件をよく見るので、道徳教育に力を入れてほしい。
- ・学力の向上だけではなく、社会に出た時に役立つ学習にも力を入れてほしい。
- ・運動能力向上の支援をしてほしい。
- ・町の歴史や文化に触れる学習を増やしてほしい。
- ・本に触れる機会を増やしてほしい。
- ・挨拶のできる子どもの育成をしてほしい。
- ・物事の善し悪しの判断力を育ててほしい。

【3】桑折町の教育環境で重要だと思うものはなんですか。

(選択肢から3項目選択)



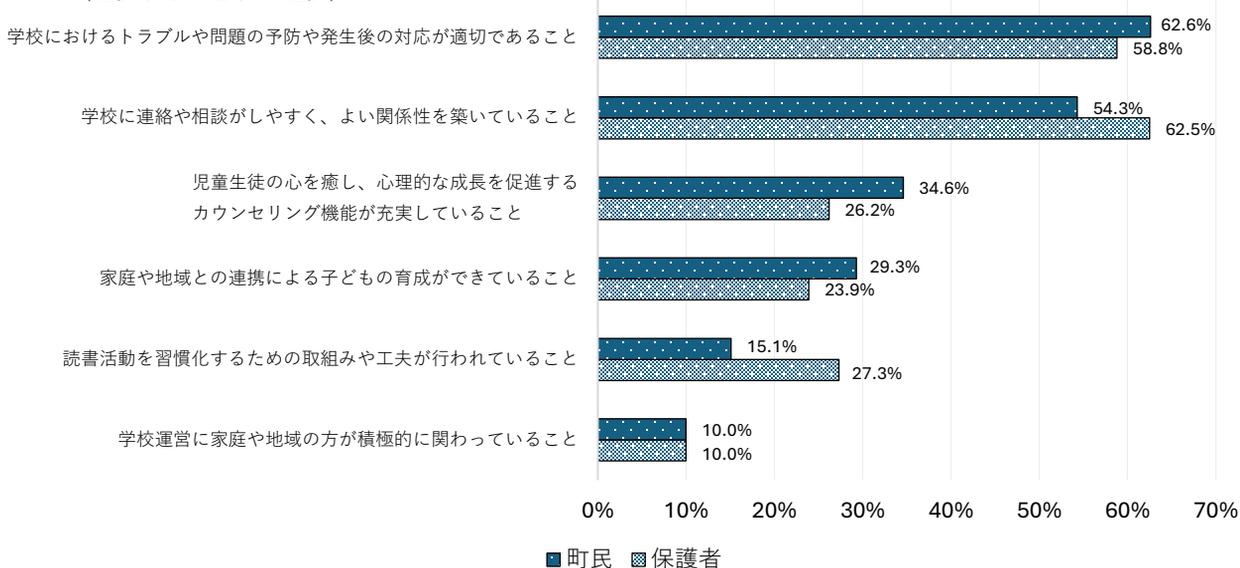
回答者の意見（自由記述欄から抜粋）



- ・子ども一人ひとりの個性が尊重され、細やかな指導を受けられるようにしてほしい。
- ・校舎の老朽化が目立つ。
- ・年齢層が広く、より多くの児童生徒と触れ合うことで多様性への理解につながると思う。
- ・少人数だと学校行事の運営がうまくいかないと。
- ・桑折学習塾のような学習の場をもっと増やしてほしい。
- ・集団の中で他者と比較し、自分の役割や得手不得手を自覚して、みんなが協力し合える環境が重要。

【4】本町の児童生徒の学校生活のサポート等について、重要だと思うものはなんですか。

(選択肢から2項目選択)

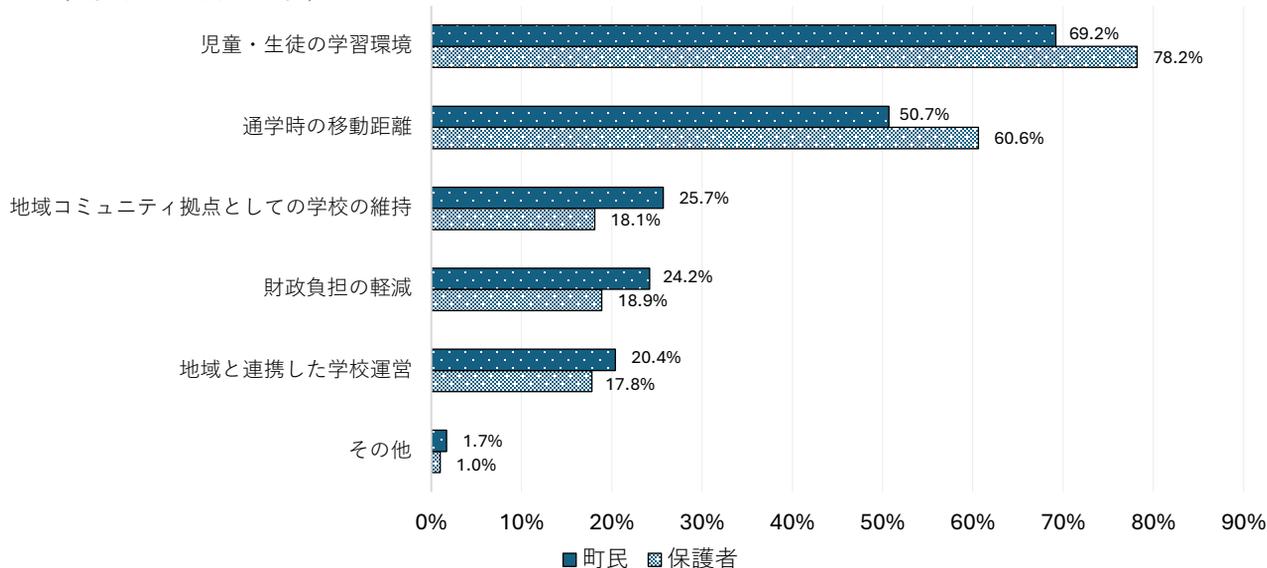


回答者の意見（自由記述欄から抜粋）



- ・町民参加型の学校イベントがあっても良いと思う。
- ・個別最適な学習ができるよう支援してほしい。
- ・子どもたちと地域での交流がない。
- ・保護者だけでなく教員からの相談にも対応してくれる専門的な人材を確保してほしい。
- ・しっかりと子どもたち一人ひとりに目を向けられる体制を整えてもらいたい。
- ・子どもたちの学びを支えるために欠かせない教師へのサポートを手厚くしてほしい。

【5】学区の見直し（現状維持を含む）を検討する際、重要だと思う視点はなんですか。
（選択肢から2項目選択）

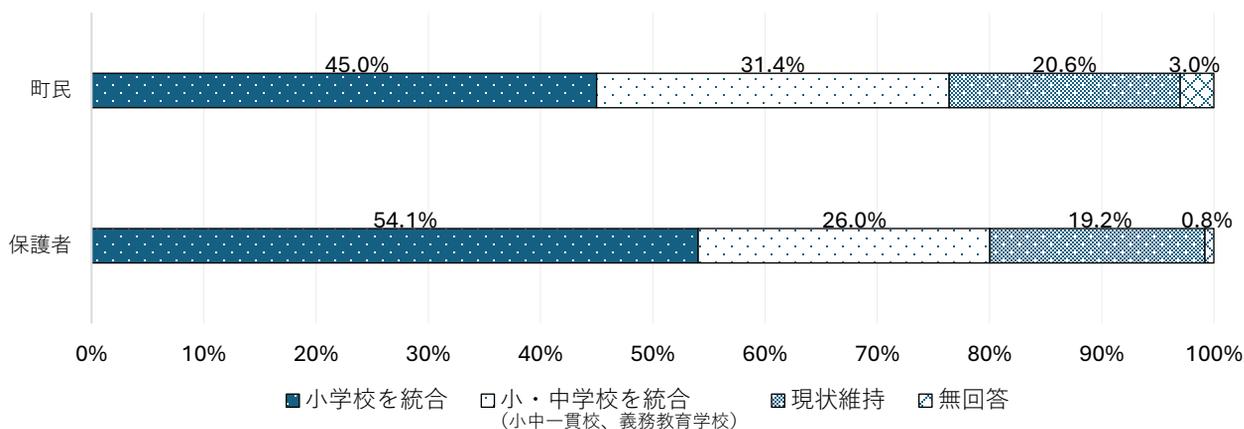


回答者の意見（自由記述欄から抜粋）



- ・多人数学級と少人数学級で学習、支援の差が出ないように、町内で子どもたちが平等に教育を受けられるようにしてほしい。
- ・不審者や熊・猪などの野生動物が心配なのでスクールバスなど安全な通学方法を導入してほしい。
- ・通学距離が遠いので通学手段の検討をしてほしい。
- ・登校班が成立していない地区がある。
- ・幼稚園ではたくさんの友達といたのに小学校で少人数になり、中学校でまた大人数の中に混ざるとギャップが心配。

【6】子どもたちのより良い教育環境を提供し続けるためには、どのような方法が望ましいと思いますか。（選択肢から1項目選択）

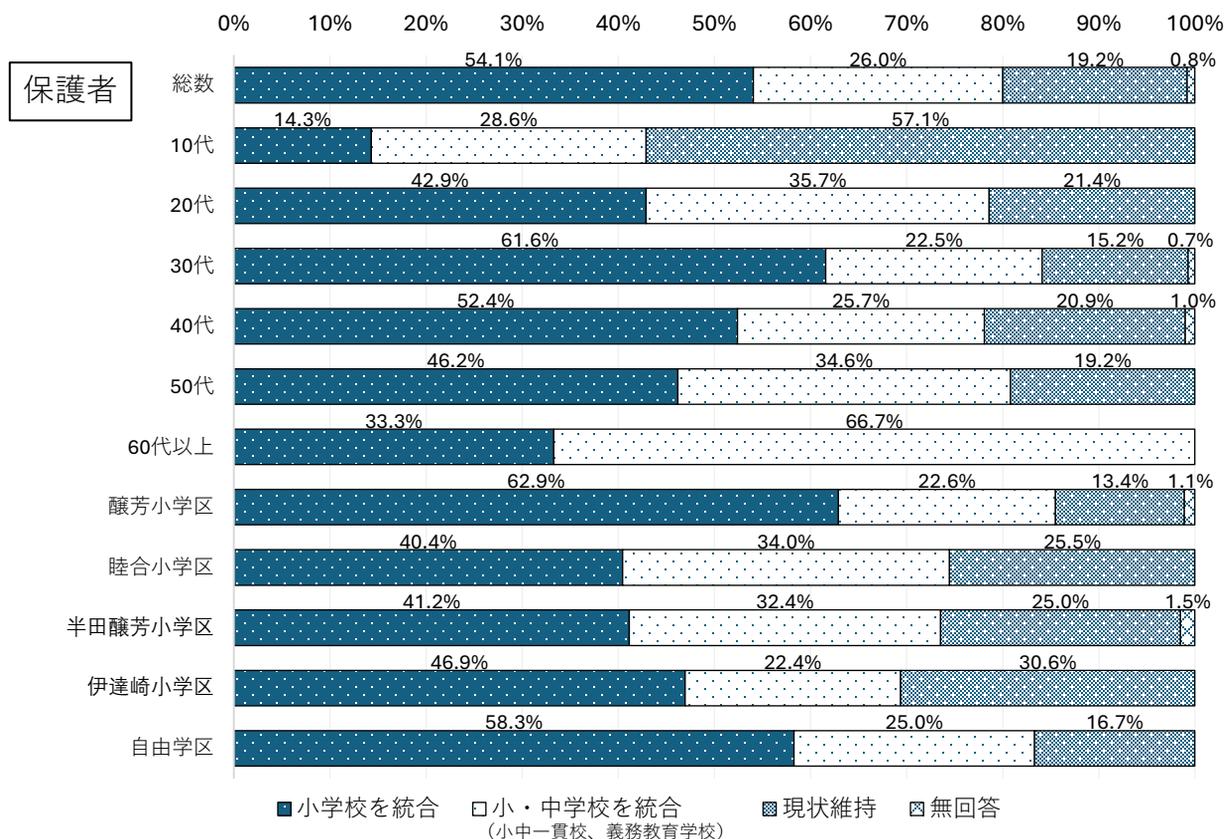
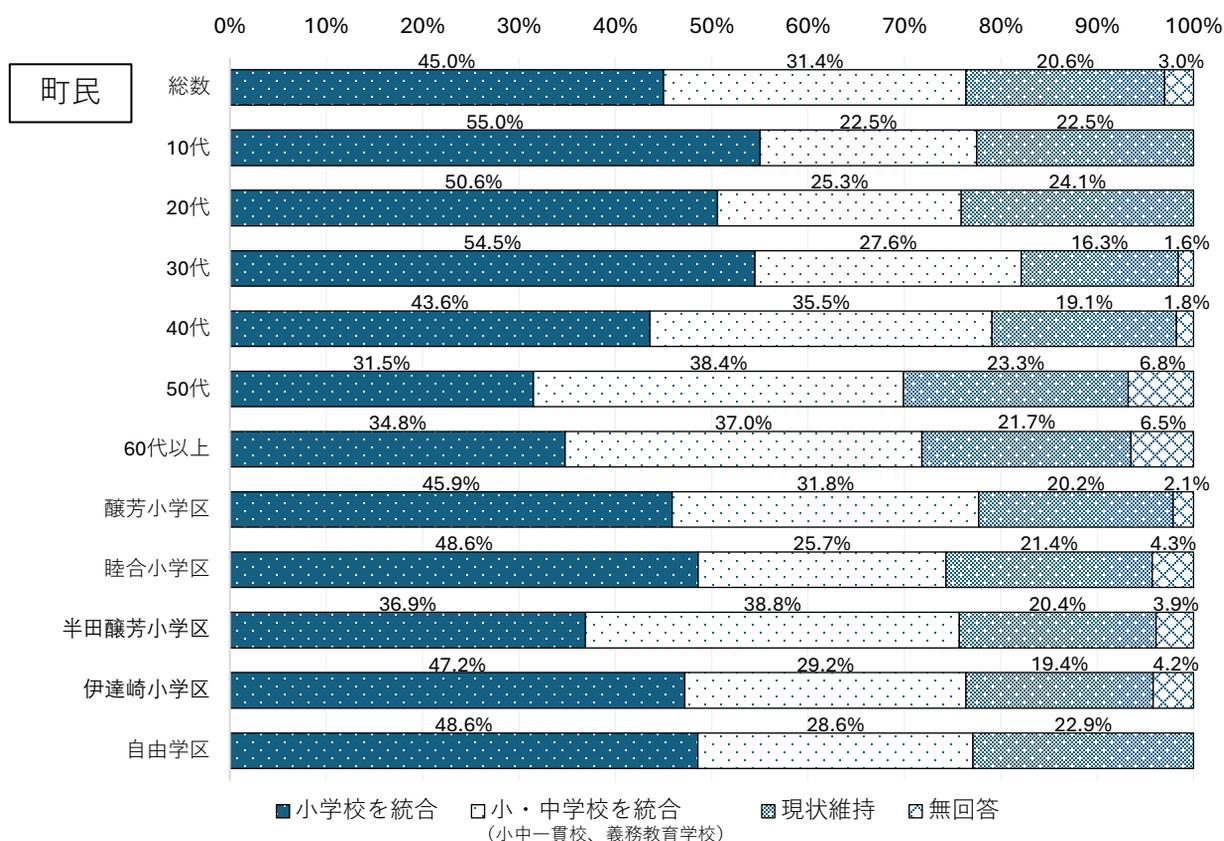


回答者の意見（自由記述欄から抜粋）

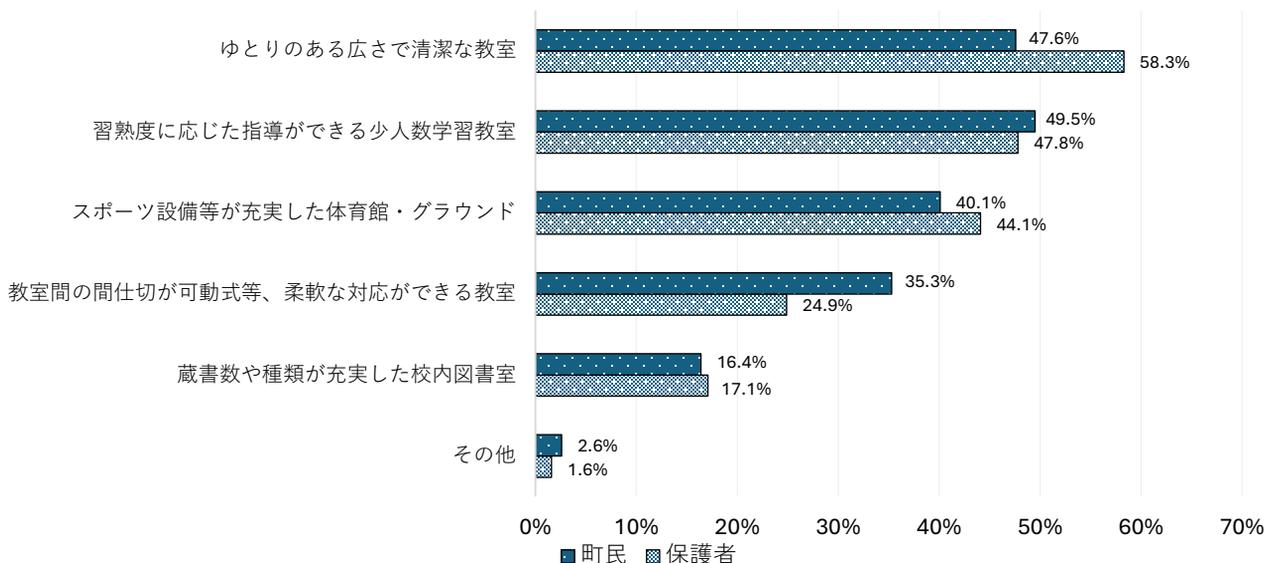


- ・少人数校では、団体競技が行えないことやコミュニケーション能力の育成に影響があるのではと心配してしまう。
- ・多くの人と関わりを持って学んでほしい。
- ・少人数の方が、先生の目が行き届き、きめ細やかな指導が行えると思う。
- ・小規模化が顕著な学校を先に統合するなどの対策を検討してほしい。
- ・小中が統合することで、校種の壁を越えて先生同士で連携することで子どもたちへの一貫した指導が可能になると思う。
- ・小中一貫になることで上下左右の人間関係を学べる環境は魅力的である。
- ・少人数が適している子もいるので、子供が通いたい学校を選べるようにしてほしい。
- ・母校がなくなってしまうのは悲しい。

各属性ごとのクロス集計結果



【7】学習に関する学校施設で、特に重要な施設や設備等はなんだと思いますか。
(選択肢から2つまで選択)

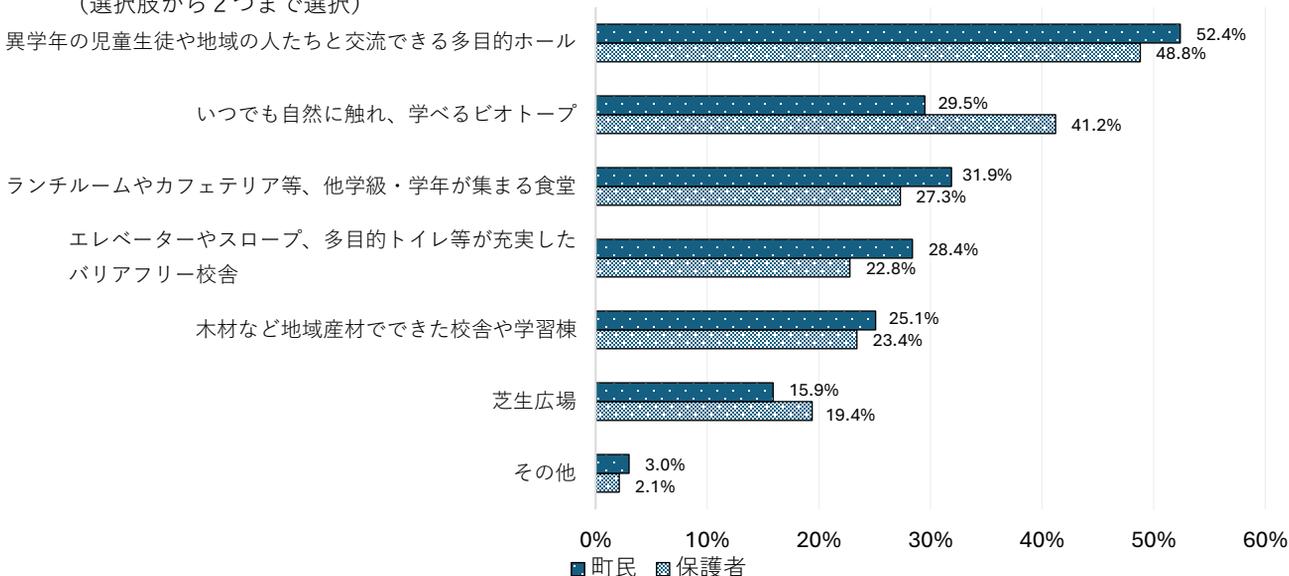


回答者の意見（自由記述欄から抜粋）



- ・間仕切がない校舎のオープン化により、落ち着かない子が増えると思う。
- ・子どもたちが楽しい、大好きな場所と思えるような校舎が望ましい。
- ・校舎の老朽化により火災や地震時の耐久性が心配。
- ・電子黒板やイコーゼ！の温水プールなど、教育環境が恵まれているので今後も力を入れてほしい。
- ・自習できる場所を増やしてほしい。
- ・設備が全て点検された安心・安全な学校にしてほしい。

【8】今後の学校施設で、特に重要な施設や設備等はどれだと思いますか。
(選択肢から2つまで選択)



回答者の意見（自由記述欄から抜粋）



- ・他学級・他学年が集まり新しい交友関係を築くことができたり、先生方も自分の時間を確保できると思うのでランチルームを設置してほしい。
- ・フリーWi-Fiの設置場所を増やしてほしい。
- ・樹木を校舎内に植え、緑に囲まれるのびやかに開放的になっているデザインも良いと思う。

総括・まとめ

1. 各調査の概要

子どもたちにどのように成長してほしいか

町民・保護者ともに「コミュニケーション能力を身につけ、良好な人間関係をつくり出せる人」「人の話に耳を傾け、人の気持ちが理解できる人」「豊かな感性を持ち、心身ともに健康な人」になってほしいという回答が多くありました。

桑折町の学校教育における教育方法・内容で重要だと思うもの

町民・保護者ともに最も多かったものは「道徳教育に力を注ぎ、子どもの思いやりの心や規範意識を育てていること」でした。次いで多かったのは、町民では「スポーツや文化活動等、子どもの個性を伸ばす教育ができていないこと」であり、保護者では「幼・小・中学校の教職員が連携し、目指す子ども像を共有しながら、児童生徒の望ましい成長を促していること」でした。

桑折町の学校教育における教育環境について重要だと思うもの

町民で最も多かったものは「集団の多様な考えに触れ、切磋琢磨する機会があること」であり、保護者では「児童生徒一人ひとりに目が届き、生活や学習についてきめ細やかな指導が行われていること」でした。

桑折町の児童生徒の学校生活のサポート等について重要だと思うもの

町民で最も多かったものは「学校におけるトラブルや問題の予防や発生後の対応が適切であること」であり、保護者では「学校に連絡や相談がしやすく、良い関係性を築いていること」でした。

学区の見直しを検討する際、重要だと思うもの

町民・保護者ともに「児童・生徒の学習環境」が最も多く、次いで「通学時の移動距離」でした。

町民と保護者の違いとしては、「財政負担の軽減」「地域コミュニティ拠点としての学校の維持」については、保護者よりも町民の方が割合が高く、一方、「児童・生徒の学習環境」「通学時の移動距離」は保護者の方が割合が高いため、町民は町全体や地域視点で、保護者は児童・生徒視点で重要視する項目が異なることが分かりました。

子どもたちにより良い教育環境を提供し続けるためにはどのような方法がよいか

町民・保護者ともに「小学校を統合」が最も多く、次いで「小・中学校を統合」でした。「現状維持」が最も少ない結果となりました。

学校施設で特に重要な施設・設備はどれだと思うか

町民・保護者ともに上位2項目は「ゆとりのある広さで清潔な教室」「習熟度に応じた指導ができる少人数学習教室」でした。

今後の学校施設で、特に重要な施設や設備等はどれだと思うか

町民・保護者ともに最も多かったものは「異学年の児童生徒や地域の人たちと交流できる多目的ホール」でした。

2. 今後の検討に向けて

各調査対象の意向では、最も「小学校を統合」が多く、次いで「小・中学校を統合（小中一貫校、義務教育学校）」が多かったため、現状の人口動態や児童・生徒数の状況から、学校を統合した方が良いと考えている人が多数を占めていることが明らかになりました。

今後は、学校統合を前提とした教育環境のよりよいあり方の具体的な方向性を「桑折町小・中学校のあり方検討委員会」等で話し合ってまいります。